

平成 28 年 3 月 30 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

ミライ・グリーン・エナジー 2 号ファンドへの出資について

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 常陰 均、以下「三井住友信託銀行」）は、N-REIF1 号投資事業有限責任組合（以下「N-REIF1」）が、スパークス・グループ株式会社（代表取締役社長 阿部 修平、以下「スパークス」）が設立する「ミライ・グリーン・エナジー 2 号投資事業有限責任組合」への出資を実行いたしましたことをお知らせ申し上げます。

N-REIF1 は、三井住友信託銀行が三井住友トラスト・インベストメント株式会社（代表取締役 水川 篤彦、以下「三井住友トラスト・インベストメント」）および伊藤忠エネクス株式会社（代表取締役 岡田 賢二、以下「伊藤忠エネクス」）と共同で設立した再生可能エネルギー事業への投資を目的とするファンドです。

1. 出資先および投資対象の概要

- (1) 名 称 : ミライ・グリーン・エナジー 2 号投資事業有限責任組合
- (2) 無限責任組合員 : スパークス
- (3) 有限責任組合員 : N-REIF1、株式会社三井住友銀行
- (4) 出資約束総額 : 36 億円
- (5) 投資先 : SGET 宇佐メガソーラー発電所プロジェクト
(所在地 : 大分県宇佐市、発電容量 : 50MW)

2. N-REIF1 の概要

- (1) 名 称 : N-REIF1 号投資事業有限責任組合
- (2) 無限責任組合員 : 三井住友トラスト・インベストメント、伊藤忠エネクス
- (3) 有限責任組合員 : 三井住友信託銀行
- (4) 出資約束総額 : 50.25 億円

3. 今後の展開

本件出資は、再生可能エネルギー事業において経験・実績のあるスパークス・グリーンエナジー&テクノロジー株式会社（スパークス子会社）が大分県宇佐市において開発する太陽光発電事業を投資対象としております。

三井住友信託銀行は、持続可能な再生可能エネルギー事業の開発支援のみならず、国内発電自由化に伴う各種投資ニーズや、コンセッション制度等を活用した空港・道路・水道事業等の民営化等にも積極的な関与を図り、民間による国内インフラ事業の発展に対して金融面での支援を図ってまいります。

以 上